

## はじめに

特定非営利活動法人（NPO 法人）エス・アイ・エヌ（以下エス・アイ・エヌとする）は2011年10月から2012年3月までの6ヵ月間、「自立を学びあう生涯学習講座」を開催しました。この講座は独立行政法人福祉医療機構から平成23年度社会福祉振興助成事業の助成金を受けて実施しました。この講座の目的は、知的障害者が自立をしていくために、学校卒業後の社会参加や生活の中での必要な知識やスキルを高めることでした。そして生涯にわたる学習とその支援環境作りの実践的な研究開発のモデル事業として取り組んだものです。

そして、この実践を通して生涯学習による「自分らしく豊かに生きる」ことをめざして研究開発した学習プログラム（講座テキストの作成）を活かし、生涯学習支援の事業化へと進むことができました。

近年、障害者権利条約の批准や障害者差別解消法の施行等も踏まえ、障害者が学校卒業後も生涯を通じて教育やスポーツ、文化等の様々な学習機会への参加ができる環境の充実が求められるようになりました。

2018年度から施行された第4次障害者基本計画においては、教育の振興策に障害者の生涯を通じた多様な学習活動の充実のなかに「障害者の各ライフステージにおける学びの支援」が盛り込まれています。

現在、エス・アイ・エヌ「集いの場あゆみ」では、これまでの生涯学習支援に関する実践を踏まえて、2016年9月から広島市地域活動支援センターⅡ型事業を活用した「知的障害者の生涯学習支援」に取り組んでいます。

そうした中で、2018年4月に文部科学省 生涯学習政策局（現在は、総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課）に「障害者学習支援推進室」が新設され、学校卒業後の障害者について、効果的な学習プログラムや実施体制等に関する実証的な研究開発と成果の普及に向けて「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」が始まりました。

エス・アイ・エヌは、この事業へ応募し「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」に採択をされました。

今回の「自立を学びあう生涯学習講座Ⅱ」のテキストは、「安全・安心」を目標に、利用者の生活ニーズや日常の困り事から「健康生活」「食生活」「金銭管理」「携帯電話の使い方」のテーマに沿って構成しました。

テキストを活用した学習は、分かりやすい表現で、漢字等へのルビ、絵や写真を交えた視覚支援、グループワークやロールプレイを交えた演習で構成されました。そして、支援者が取り組むときの参考にするための支援の手引きも作成しています。

テキストの内容は、各講座の専門性や講師の個性や思いを尊重しているために、表現法や字体に差異が見られるかもしれませんが、また、それぞれの講座の中で一部、内容が重複をしている部分もあるかもしれませんが、繰り返し行う中で、

より理解を深めることも必要であると考えています。

特に健康生活と食生活は日常の生活の中で欠かせない分野でもあり、重なる部分も多くあります。

今回の講座で、「健康生活」は、季節の変わり目に必要な健康管理や対処法、就労している人にとって重要なストレスなど、実践的かつ身近な問題に焦点を当てています。

「食生活」では、栄養に関する基礎的な知識と共にバランスを考えた食事のとり方と調理実習など実生活に役立てる内容となっています。

「金銭管理」では携帯アプリやパソコンなどにも挑戦して家計簿を付けることで金銭管理についての方法を学びました。やりくり上手になるために個々の金銭管理の方法を見つけることが目的となりました。

「携帯電話の使い方」に関する学習では、携帯電話を通してのトラブルやマナーについて学びました。携帯電話が一般化している現在、相手とのやりとりのルールやマナーを中心にロールプレイも交えて学びました。

以上のようなポイントでテキストが作成されています。

最後になりましたが、文部科学省「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」の委託事業により、「自立を学びあう生涯学習講座Ⅱ」のテキストを発行することができました。

今後は、障害者の生涯学習支援の普及に役立てたいと思います。

特定非営利活動法人  
「エス・アイ・エヌ」  
集いの場あゆみ  
所長 草羽俊之